

令和2年度宮城県みやぎカイゼンマイスター育成事業「カイゼンの匠創出講座(1年目コース)」カリキュラム

区分	開催日	時間	講義等 内容	講師等(敬称略)	会場		
コンサルティングスキル	第1日	8/28(金)	10:00~10:20	20分 【開講式・オリエンテーション】 ・開講挨拶 ・講座の目的、進め方 ・講師紹介 ・受講生自己紹介 ・事務局紹介	事務局	商工振興センター 会議室(仙台市)	
			10:20~12:00	100分 【オープニングセミナー】 『今、地域に求められる生産現場改善支援人材』 ～みやぎ産業振興機構の仕事から見てきたもの～	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一		
			12:00~13:00	60分	昼食		
			13:00~14:00	60分	『私の経験から語る生産現場改善支援とは』		小林 昭二
			14:00~14:10	10分	休憩		
			14:10~16:20	130分	【グループディスカッション・発表】 ・生産現場改善支援人材に求められる資質・要件 ・なりたい支援人材の姿とは ・本日の振り返り		ファシリテーター トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一
16:20~16:30	10分	現場研修の進め方と注意事項	事務局				
現場研修	第2日	9月上旬	4時間程度	240分 【現場研修①(ものづくり企業)】 ・受講生はグループを意識しつつ、受講生全員で同一の研修を受講 ・講師の指導の下、生産現場においてカイゼンポイントの抽出における着眼点やその手法を学ぶ。	小林 昭二	ものづくり企業A社	
	第3日	9月中旬	4時間程度	240分 【現場研修②(水産加工業)】 ・受講生はグループを意識しつつ、受講生全員で同一の研修を受講 ・講師の指導の下、生産現場においてカイゼンポイントの抽出における着眼点やその手法を学ぶ。	北川 泰	水産加工業B社	
	第4日	9月下旬	4時間程度	240分 【現場研修③(ものづくり企業)】 ・受講生はグループを意識しつつ、受講生全員で同一の研修を受講 ・講師の指導の下、生産現場においてカイゼンポイントの抽出における着眼点やその手法を学ぶ。	佐藤 嘉忠	ものづくり企業C社	
振返りワークショップ(W)	第5日	10/2(金)	13:00~13:30	30分	インストラクションおよびグループディスカッションの説明	事務局	商工振興センター 会議室(仙台市)
			13:30~15:50	140分	【グループディスカッション】 ・現場研修や講義で学んだことの整理 ・専門家の生産現場改善支援における支援手法と進め方の整理	小林 昭二 北川 泰 佐藤 嘉忠	
			15:50~16:00	10分	休憩		
			16:00~16:30	30分	【発表・質疑応答】	小林 昭二 北川 泰 佐藤 嘉忠	
			16:30~16:50	20分	本日の振り返り、質疑応答	事務局	
16:50~17:00	10分	実践訓練の進め方と注意事項	事務局				
実践訓練	第6日	10月	4時間程度	240分 【カイゼン支援の実践訓練】 ※ものづくり企業1社と水産加工業1社に継続して計3回ずつ訪問する。	佐藤 嘉忠	ものづくり企業D社	
	第7日	10月	4時間程度	240分 ・1回目の実践訓練では、講師指導の下、生産現場におけるカイゼン点の見出し方を習得するとともに、カイゼンに取組むターゲットの抽出手法を習得する。	北川 泰	水産加工業E社	
生産現場改善支援スキル	第8日	11/6(金)	10:00~10:20	20分	【インストラクション①】 ・受講生は、専門家として中小企業A社の関係者(現場の管理職・リーダー、社員)に、これから始める生産現場改善活動への不安を払拭するとともに、理解を深めていただくための説明を行う。 ・さらに、改善活動への興味とモチベーションを高めてもらうために分かりやすく説明する方法を工夫して行う。	受講生①	商工振興センター 会議室(仙台市)
			10:20~10:50	30分	【受講生同士の質疑応答、講師との質疑応答・アドバイス】	参与兼チーフコーディネーター 熊谷 良哉	
			10:50~11:00	10分	休憩		
			11:00~12:00	60分	【グループワーク(ものづくり企業)】 ・支援の手法・進め方のまとめ ・生産現場改善支援の取組手法や進め方、留意点のまとめ	佐藤 嘉忠	
			12:00~13:00	60分	昼食		
			13:00~14:00	60分	【グループワーク(ものづくり企業)】 ・支援の手法・進め方のまとめ ・生産現場改善支援の取組手法や進め方、留意点のまとめ	佐藤 嘉忠	
			14:00~16:00	120分	【グループワーク(水産加工業)】 ・支援の手法・進め方のまとめ ・生産現場改善支援の取組手法や進め方、留意点のまとめ	北川 泰	
			16:00~16:10	10分	休憩		
16:10~16:40	30分	【発表・質疑応答】 ・取りまとめた内容を発表 ・発表に対し、講師による質疑	参与兼チーフコーディネーター 熊谷 良哉				
16:40~17:00	20分	本日の振り返り、質疑応答					
実践訓練	第9日	11月	4時間程度	240分 【カイゼン支援の実践訓練】 ※ものづくり企業1社と水産加工業1社に継続して計3回ずつ訪問する。	佐藤 嘉忠	ものづくり企業D社	
	第10日	11月	4時間程度	240分 ・2回目(第9日・10日)の実践訓練では、現場でのOJTにより、1回目に抽出したカイゼンのターゲットの中からカイゼンテーマを絞り込み、テーマのブラッシュアップを行う(多角的な視点でカイゼンテーマを再度検討し、テーマを深掘りする)。	北川 泰	水産加工業E社	
	第11日	1月	4時間程度	240分 ・3回目(第11日・12日)の実践訓練では、これまで検討してきたカイゼンテーマを踏まえ、受入企業にカイゼンの取組について、提案する内容にまで熟慮する。	佐藤 嘉忠	ものづくり企業D社	
	第12日	1月	4時間程度	240分	北川 泰	水産加工業E社	
振返りワークショップ(W)	第13日	2/5(金)	13:00~13:20	20分	【インストラクション②】(以下、再掲) ・受講生は、専門家として中小企業A社の関係者(現場の管理職・リーダー、社員)に、これから始める生産現場改善活動への不安を払拭するとともに、理解を深めていただくための説明を行う。 ・さらに、改善活動への興味とモチベーションを高めてもらうために分かりやすく説明する方法を工夫して行う。	受講生②	商工振興センター 会議室(仙台市)
			13:20~13:40	20分	【受講生同士の質疑応答、講師との質疑応答・アドバイス】	参与兼チーフコーディネーター 熊谷 良哉	
			13:40~15:10	90分	【グループワーク(ものづくり企業)】 ・支援の手法・進め方のまとめ ・生産現場改善支援の取組手法や進め方、留意点のまとめ	佐藤 嘉忠	
			15:10~15:20	10分	休憩		
			15:20~16:50	90分	【グループワーク(水産加工業)】 ・支援の手法・進め方のまとめ ・生産現場改善支援の取組手法や進め方、留意点のまとめ	北川 泰	
			16:50~17:00	10分	本日の振り返り、質疑応答	事務局	
コンサルティングスキル	第14日	2/12(金)	10:00~10:20	20分	【インストラクション③】(以下、再掲) ・受講生は、専門家として中小企業A社の関係者(現場の管理職・リーダー、社員)に、これから始める生産現場改善活動への不安を払拭するとともに、理解を深めていただくための説明を行う。 ・さらに、改善活動への興味とモチベーションを高めてもらうために分かりやすく説明する方法を工夫して行う。	受講生③	商工振興センター 会議室(仙台市)
			10:20~10:40	20分	【受講生同士の質疑応答、講師との質疑応答・アドバイス】	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一	
			10:40~11:00	20分	【ものづくり企業の発表】		
			11:00~11:20	20分	【ものづくり企業の発表に対する質疑応答】	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一	
			11:20~11:30	10分	休憩		
			11:30~11:50	20分	【水産加工業の発表】		
			11:50~12:10	20分	【水産加工業の発表に対する質疑応答】	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一	
			12:10~13:10	60分	昼食		
			13:10~14:35	85分	【グループディスカッション・発表(初日講座「グループディスカッション」の振返り)】 (1)ディスカッション:60分(13:10~14:10) ・生産現場改善支援人材に求められる資質・要件とは ・なりたい支援人材の姿とは (2)発表:15分(14:10~14:25) (3)質疑応答:10分(14:25~14:35)	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一	
			14:35~14:55	20分	『受講生へのメッセージ』(各10分)	佐藤 嘉忠 北川 泰	
			14:55~15:10	15分	受講生個人発表(決意、感想等)(各5分)	受講生	
			15:10~15:25	15分	休憩		
15:25~16:45	80分	『総括・受講生へのメッセージ』	トップマネジメントアドバイザー 白幡 洋一				
16:45~17:00	15分	閉講式	事務局				